

## 里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	計画策定と実行プロセス
手法名	「ボランティアの日」設定による社員の里山里海活動の持続的実施と地域貢献
主体	能登建設株式会社
背景(地域の課題)	企業CSR活動として、地元根差した取り組みが求められている。特に奥能登においては里山里海保全への貢献や、生物多様性の向上に資する活動が模索されている現状がある。
手法／方策の詳細	<p>(1) 企業の環境理念の設定と「ボランティアの日」の設定          企業の理念の設定と各種ISOの取得を行うことで、企業として里地里山保全活動にどうかかわるのか位置付けを確立し、継続的に取り組む姿勢を明確にしている。          具体的な取り組みとして「ボランティアの日」を設定し、社員全員参加による活動を社内で制度化していることで、里地里山保全活動に継続的な取り組みを実現している。</p> <p>(2) ボランティアの日の活動内容          地元大学と連携し、研修会等を通じて里地里山への理解を深めるとともに、地域のニーズにこたえる下記の複数の活動を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 里山の生き物を守り育てる活動(図1)</li> <li>② 里山の森づくり活動(図2)</li> <li>③ 生物多様性についての研修会(図3)</li> <li>④ 里海づくり活動(図4)</li> <li>⑤ 道路美化清掃活動</li> </ol>
手法・技術的視点	<p>(1) 企業理念からの里地里山保全活動の位置づけの明確化          ISO取得を契機に地域に密着した保全活動を行う方向性を社内に確立。各種の表彰を受けるなど企業イメージの向上につなげている。</p> <p>(2) 継続的な活動を実現するための社内制度づくり          「ボランティアの日」を設定し、里山里海の保全に貢献する活動に社員が継続的に取り組める体制を確立している点が着目される。</p>

<p>実行プロセス・運営体制のイメージ</p>	<p>「ボランティアの日」活動の展開ステップ</p> <p>「ボランティアの日」里山里海活動の構成要素</p>
<p>図・写真資料</p>	<p>図1 </p> <p>図2 </p> <p>図3 </p> <p>図4 </p>
<p>参考資料</p>	<p>里なび研修会in石川パワーポイント資料(入田明大氏)</p>